

令和3年4月8日公表

## 作物統計調査 令和2年産かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量（近畿）

— 和歌山県の収穫量は前年産に比べ7%減少、 —  
— 奈良県の収穫量は同12%減少 —

### 【調査結果の概要】

#### 1 結果樹面積

近畿の結果樹面積は4,840haとなった。

近畿の主な産地である和歌山県が2,500ha、奈良県が1,790haで、それぞれ前年産並みとなった。

#### 2 収穫量及び出荷量

近畿の収穫量は7万2,100tで、出荷量は6万5,000tとなった。

収穫量は、和歌山県が4万500t、奈良県が2万7,700tで、前年産に比べそれぞれ2,900t（7%）、3,600t（12%）減少した。

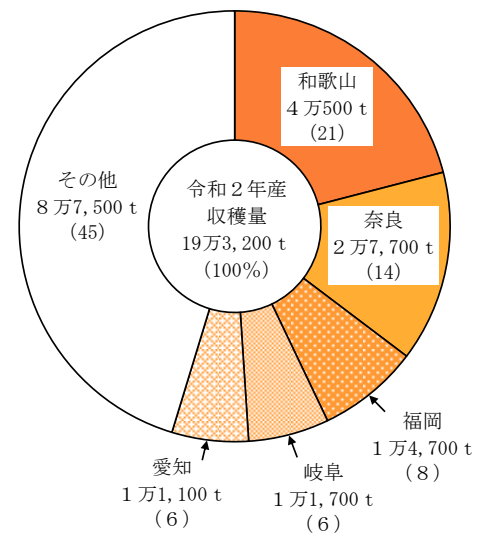
出荷量は、和歌山県が3万6,600t、奈良県が2万5,800tで、前年産に比べそれぞれ2,600t（7%）、3,300t（11%）減少した。

なお、収穫量の全国順位は、和歌山県が42年連続1位、奈良県が20年連続2位となっており、この2県で全国の35%を占めている。

表 かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量

区分	結果樹面積	収穫量	出荷量	対前年増減率		
				結果樹面積	収穫量	出荷量
	ha	t	t	%	%	%
近 畿	4,840	72,100	65,000	nc	nc	nc
和歌山	2,500	40,500	36,600	0	△ 7	△ 7
奈 良	1,790	27,700	25,800	0	△ 12	△ 11
(参考) 全 国	18,500	193,200	165,900	△ 2	△ 7	△ 5

図1 かきの都道府県別収穫量



- 全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており、令和2年産については全国調査年に該当する。
- 結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が本年産の果実を収穫するために結実させた面積をいう。

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量の推移

1 全国

2 近畿

区分	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	ha	kg	t	t
平成23年産	22,100	939	207,500	170,300	…	…	…	…
24	21,900	1,160	253,800	209,300	…	…	…	…
25	21,600	994	214,700	177,400	…	…	…	…
26	21,300	1,130	240,600	198,900	5,160	1,640	84,500	75,800
27	20,800	1,160	242,000	198,600	…	…	…	…
28	20,400	1,140	232,900	191,500	…	…	…	…
29	19,800	1,140	224,900	186,400	…	…	…	…
30	19,100	1,090	208,000	172,200	…	…	…	…
令和元	18,900	1,100	208,200	175,300	…	…	…	…
2（概数）	18,500	1,040	193,200	165,900	4,840	1,490	72,100	65,000

資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』（以下4まで同じ。）

3 和歌山県

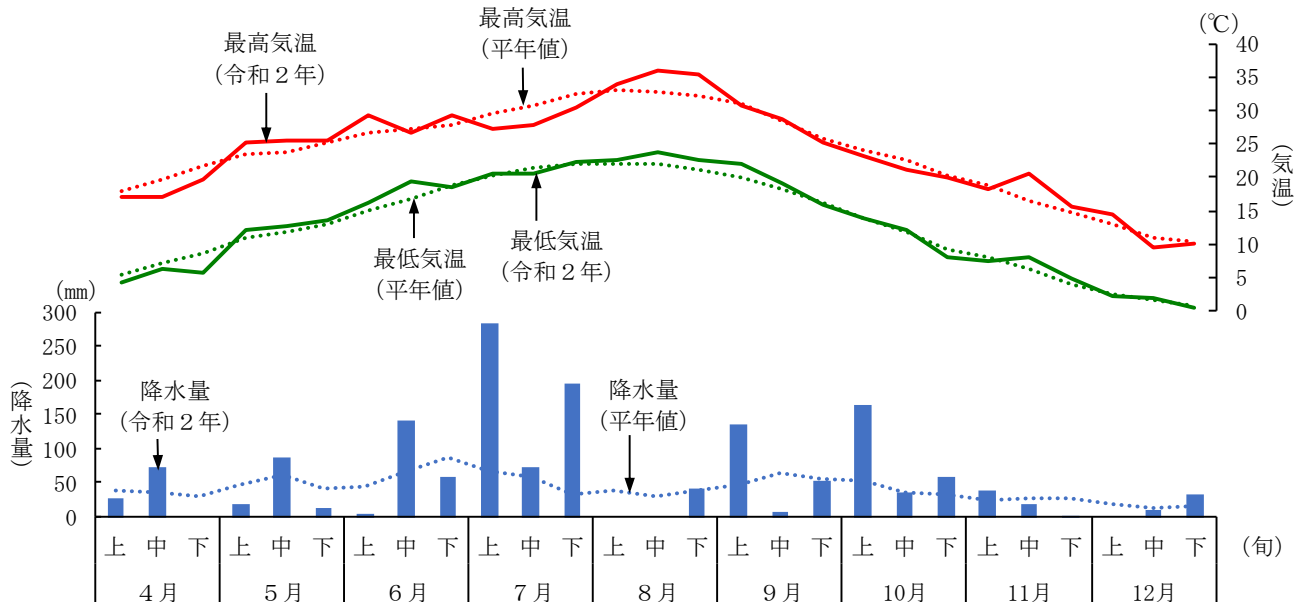
4 奈良県

区分	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	ha	kg	t	t
平成23年産	2,790	1,690	47,200	42,300	1,860	1,540	28,600	26,800
24	2,780	1,940	53,900	48,200	1,860	1,620	30,100	27,900
25	2,740	1,760	48,200	43,400	1,860	1,530	28,500	26,800
26	2,700	1,740	47,000	42,600	1,840	1,770	32,600	30,500
27	2,660	1,900	50,500	45,100	1,820	1,680	30,600	28,500
28	2,600	1,790	46,500	42,000	1,810	1,890	34,200	31,600
29	2,540	1,870	47,500	42,800	1,810	1,810	32,800	30,800
30	2,530	1,550	39,200	35,300	1,800	1,570	28,300	26,300
令和元	2,510	1,730	43,400	39,200	1,790	1,750	31,300	29,100
2（概数）	2,500	1,620	40,500	36,600	1,790	1,550	27,700	25,800

◎ 関連データ

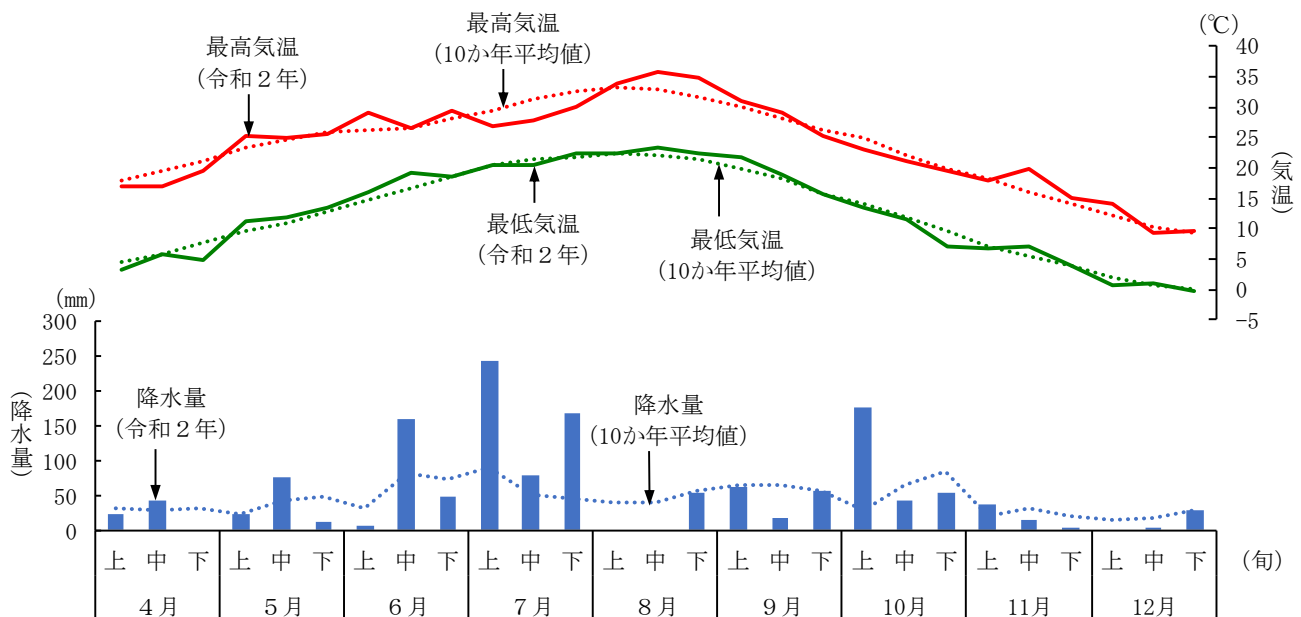
1 旬別気象（令和2年4月～12月）

(1) 和歌山県（観測地：かつらぎ）



資料：気象庁「アメダスデータ」（以下、1(2)まで同じ。）

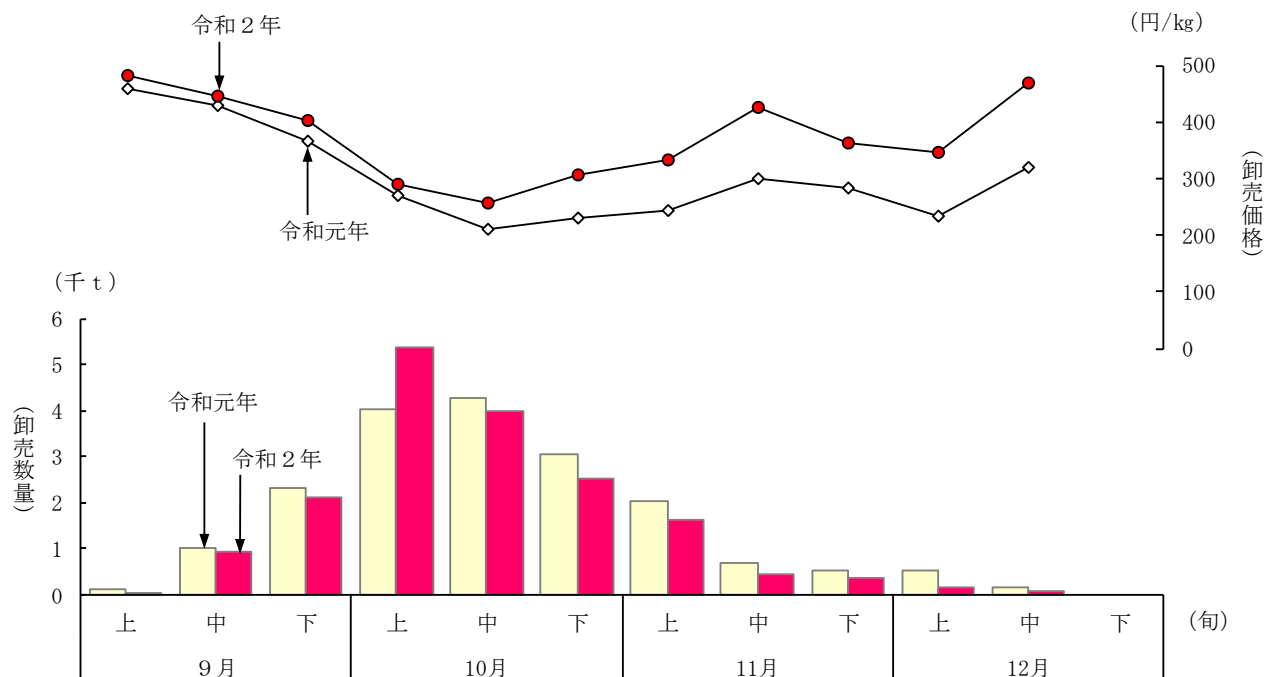
(2) 奈良県（観測地：五條）



注：五條は平年値がないため、過去10か年平均値と比較した。

## 2 かきの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場計・産地別）

### (1) 和歌山県

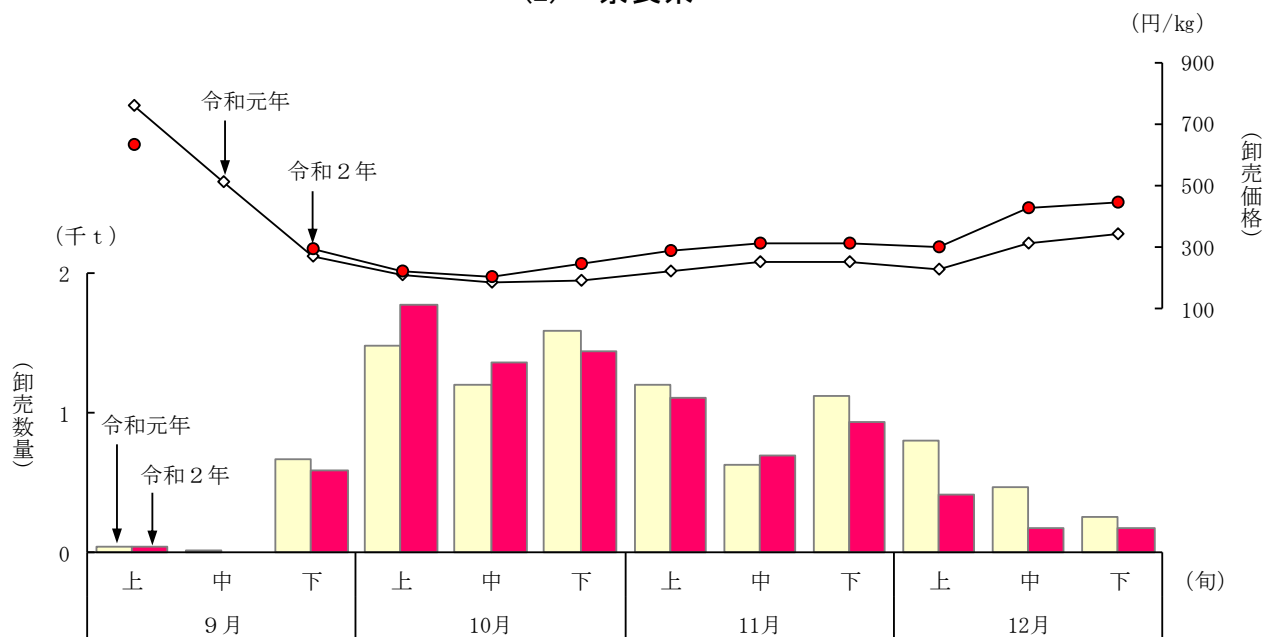


資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査」（以下、2(2)まで同じ。）

注：1 全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の日別値を積み上げて算出したものである（以下、2(2)まで同じ。）。

2 令和元年12月下旬及び令和2年12月下旬については、主要卸売市場の取扱数量の多い順に80%を占めるまでの産地に含まれていないため公表していない。

### (2) 奈良県



注：令和2年9月中旬については、主要卸売市場の取扱数量の多い順に80%を占めるまでの産地に含まれていないため公表していない。

## 【調査結果】

### 1 近畿

結果樹面積は4,840haとなった。

10 a 当たり収量は1,490kgで、収穫量は7万2,100 t、出荷量は6万5,000 tとなった。

### 2 和歌山県

#### (1) 結果樹面積

結果樹面積は2,500haで、前年産並みとなった。

#### (2) 生育概況

結果数は、7月の日照不足等の影響により生理的落果が多く発生したことから前年産に比べ少なくなった。

果実の肥大は、8月の高温少雨の影響により抑制され、前年産に比べ小玉傾向となった。

被害は、7月及び9月上旬の多雨による炭疽病、8月の高温・強日射による日焼け果の発生がみられた。

#### (3) 10 a 当たり収量

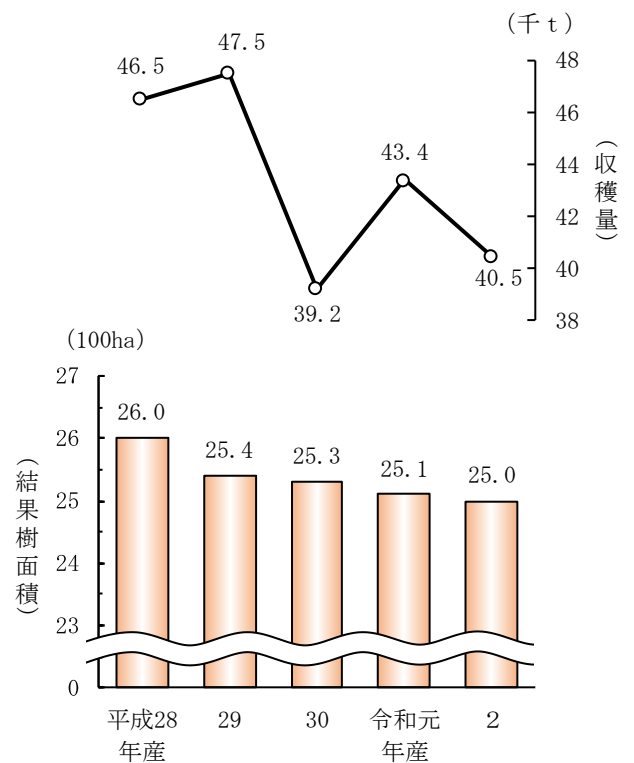
以上のことから、10 a 当たり収量は1,620 kgで、前年産に比べ110 kg（6%）下回った。

#### (4) 収穫量・出荷量

収穫量は4万500 t、出荷量は3万6,600 tで、前年産に比べそれぞれ2,900 t（7%）、2,600 t（7%）減少した。

なお、収穫量は昭和54年産から42年連続全国1位となっており、全国の21%を占めている。

図2 かきの結果樹面積及び収穫量の推移（和歌山県）



### 3 奈良県

#### (1) 結果樹面積

結果樹面積は1,790haで、前年産並みとなった。

#### (2) 生育概況

結果数は、7月の日照不足等の影響により生理的落果が多く発生したことから前年産に比べ少なくなった。

果実の肥大は、8月の高温少雨の影響により抑制され、前年産に比べ小玉傾向となった。

被害は、一部地域で8月の高温・強日射による日焼け果等の発生がみられた。

#### (3) 10 a 当たり収量

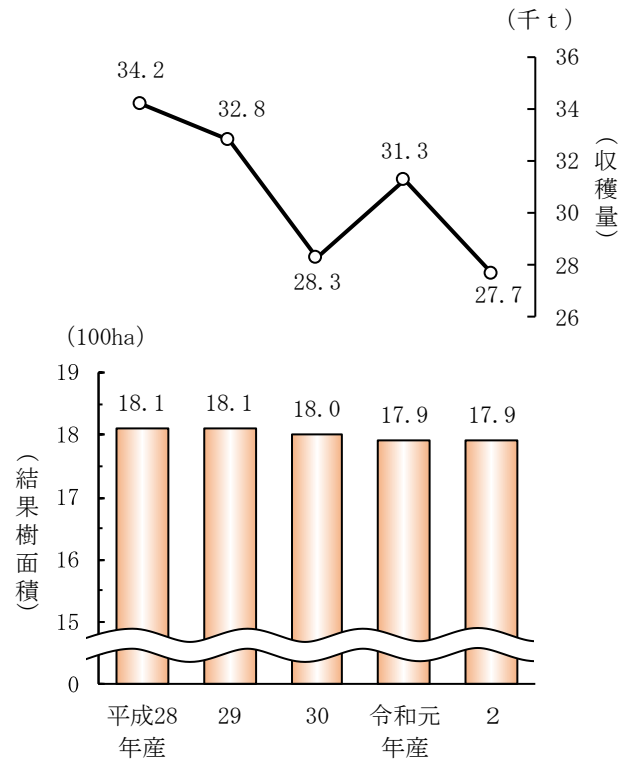
以上のことから、10 a 当たり収量は1,550 kgで、前年産に比べ200 kg（11%）下回った。

#### (4) 収穫量・出荷量

収穫量は2万7,700 t、出荷量は2万5,800 tで、前年産に比べそれぞれ3,600 t（12%）、3,300 t（11%）減少した。

なお、収穫量は平成13年産から20年連続全国2位となっており、全国の14%を占めている。

図3 かきの結果樹面積及び収穫量の推移（奈良県）



【統計表】

令和2年産かきの全国、近畿、収穫量上位10県及び管内府県の  
結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

収穫量の 全国順位	区分	結果樹 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	出荷量	対前年産比			
						結果樹 面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	出荷量
		ha	kg	t	t	%	%	%	%
-	全 国	18,500	1,040	193,200	165,900	98	95	93	95
-	近 畿	4,840	1,490	72,100	65,000	nc	nc	nc	nc
	(収穫量上位10県)								
1	和 歌 山	2,500	1,620	40,500	36,600	100	94	93	93
2	奈 良	1,790	1,550	27,700	25,800	100	89	88	89
3	福 岡	1,170	1,260	14,700	13,400	96	93	89	89
4	岐 阜	1,220	956	11,700	10,600	99	82	82	82
5	愛 知	1,030	1,080	11,100	10,300	96	110	106	114
6	福 島	987	981	9,680	8,190	98	112	109	109
7	新 潟	640	1,480	9,470	8,710	100	94	93	93
8	長 野	661	1,290	8,530	7,890	100	88	89	90
9	愛 媛	587	1,240	7,280	6,410	100	88	88	88
10	山 形	788	857	6,750	5,490	98	88	86	86
	(管内府県)								
22	京 都	204	764	1,560	1,070	nc	nc	nc	nc
27	兵 庫	163	623	1,020	753	nc	nc	nc	nc
31	滋 賀	138	591	816	339	nc	nc	nc	nc
35	大 阪	51	1,080	551	424	nc	nc	nc	nc

注：対前年産比の「nc」は、前年値がないため計算不能であることを示す。

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の果樹調査として実施したものであり、果樹の結果樹面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進、農業保険法に基づく果樹共済事業の適切な運営等のための資料を整備することを目的としている。

### 2 調査の範囲・対象

令和2年産については、全国を対象として調査を実施した。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており、全国調査年以外の年にあつては、調査対象品目ごとに、直近の全国調査年における面積調査結果に基づき、全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び調査対象品目に係る果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としている。

調査対象は、調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体（関係団体調査）及び標本経営体（標本経営体調査）とした。

### 3 調査事項

- (1) 関係団体調査  
調査対象品目の結果樹面積及び出荷量
- (2) 標本経営体調査  
調査対象品目の結果樹面積、出荷量及び「自家用、無償の贈与の量」

### 4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、本調査の年産区分の主たる収穫期間は、「令和2年9月～12月」である。

### 5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

### 6 集計方法

- (1) 都道府県値
  - ア 結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。
  - イ 収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査の結果から得られた10a当たり収量に結果樹面積を乗じて算出し、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集により補完している。
  - ウ 出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり出荷量等を基に算出している。
- (2) 全国値  
結果樹面積、収穫量及び出荷量は、都道府県値の積み上げにより算出した。



## 7 用語の解説

- (1) 栽培面積とは、調査日現在において、複数年にわたって収穫を行うことができる永年性作物の栽培に利用している面積をいう。
- (2) 結果樹面積とは、栽培面積のうち、生産者が本年産の果実を収穫するために結実させた面積をいう。
- (3) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (4) 出荷量とは、収穫量のうち、生食用、加工用として販売した量をいい、生産者が自家消費した量及び種子用、飼料用として販売したものは含めない。

## 8 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原数		6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		2桁		1桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

- (2) 表中に用いた記号は次のとおりである。
  - 「0」： 単位に満たないもの（例：0.4%→0%）、又は増減のないもの
  - 「…」： 事実不詳又は調査を欠くもの
  - 「△」： 負数又は減少したもの
  - 「nc」： 計算不能
- (3) この資料に掲載された数値を他に転載する場合は、「令和2年産かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量（近畿）」（近畿農政局）による旨を記載してください。

## 9 その他

令和2年産の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、農林水産省ホームページに掲載（令和3年12月予定）するとともに、その後刊行する『近畿農林水産統計年報』への掲載を予定している。

なお、詳細な数値を農林水産省ホームページに掲載した後の正誤情報は、農林水産省ホームページでお知らせする。

## 【ホームページ掲載案内】

- 近畿の統計調査結果は、近畿農政局ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/> 】

- 全国の統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「果樹」の「作況調査（果樹）」で御覧いただけます。

【 [https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kazyu/index.html#y8](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y8) 】

## 【関連リンク】

果樹関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ＞果樹施策の概要

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/attach/pdf/index-96.pdf>

### 【お問合せ先】

- ◎本統計調査結果について

近畿農政局統計部生産流通消費統計課

電話：（代表） 075-451-9161 内線 2658  
（直通） 075-414-9650

F A X : 075-417-2067

- ◎農林水産統計全般について

近畿農政局統計部統計企画課

電話：（代表） 075-451-9161 内線 2623  
（直通） 075-414-9620

F A X : 075-417-2067



**政府統計**

政府統計の総合窓口  
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



### スマホでみる農林統計

★ 近畿の府県別、市町村別の主要農林水産統計データをスマートフォンで簡単に閲覧できます。

近畿農政局ホームページから、PDF ファイルをダウンロードして、御利用いただけます。動作には、別途 Adobe Reader が必要です。

URL : <https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/smapho/PDF/200403.pdf>

